

平成27年 藤枝市議会2月定例会

建設経済環境委員会委員長報告書

(議案審査)

(追加議案)

平成27年3月20日

[本 会 議]

建設経済環境委員会に付託されました、議案2件の審査の経過と結果について、御報告いたします。

最初に、第43号議案「平成26年度 藤枝市一般会計補正予算（第6号）」のうち、本委員会に分割付託されました費目について、申し上げます。

はじめに、歳出関係で「2款1項23目 地域住民生活等緊急支援交付金事業費のうち プレミアム商品券発行事業費について、導入理由と販売方法について伺う。」という質疑があり、

これに対して、「この交付金は、景気回復の遅れる地方の消費喚起を主目的としており、国はプレミアム商品券、ふるさと名物商品、及び旅行券の発行が困難な場合に生活支援を行う、との考えを示している。それを受けて、県では、ふるさと名物商品、旅行券事業を実施する予定であることから、本市としては、プレミアム商品券の発行事業を実施することとした。また、販売方法については、通常分は一人30セットまで、加えて多子世帯分は一世帯で10セットまでを販売限度としている。なお、多子世帯への販売は販売業務が煩雑になることを回避するため、通常販売に先行して実施する予定である。」という答弁がありました。

次に、「商品券の全てが大型店に流れる心配はないか伺う。」という質疑があり、

これに対して、「商品券は1,000円券12枚で1セットとなっているが、8枚は大型店やスーパー・コンビニなどでも使用可能。残り4枚は商店街など地域小売業者のみで使用可とする方向であり、4枚分は確実に地域小売業者での利用を確保できると考えている。」という答弁がありました。

次に、「販売の周知方法について伺う。」という質疑があり、

これに対して、「5月から、全戸配布のチラシ、広報・ホームページ・フェイスブック、新聞折り込み、商工会議所ニュース等、あらゆる広報媒体を活用し、周知を徹底させ、さらに、有効期限満了日前にも、購入した商品券の使用を積極的に呼びかけてく。」という答弁がありました。

以上のような審査を経て、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第44号議案「平成27年度 藤枝市一般会計補正予算（第1号）」のうち本委員会に分割付託されました費目について、申し上げます。

質疑もなく、採決の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告いたします。